



もとみや

議会だより

第68号

令和3年10月発行

リズムに合わせて！
(光明保育園)

令和2年度各会計決算審査……………P.2～5
一般質問7名が登壇……………P.13～17

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gtkai/>
メールアドレス gtkai@city.motomiya.lg.jp



,325万円

このように
使われました

※ R 3.3.31 の住民基本台帳人口 30,058 人

衛生費 28億8,374万円
 市民一人当たり 9万5,939円
 放射能対策や健康・環境衛生に

農林水産業費 25億486万円
 市民一人当たり 8万3,334円
 農林業の振興に

土木費 16億1,842万円
 市民一人当たり 5万3,843円
 道路や河川・本宮駅前整備に

公債費 11億2,653万円
 市民一人当たり 3万7,479円
 借金返済に

災害復旧費 10億45万円
 市民一人当たり 3万3,284円
 東日本台風災害や福島県沖地震の復旧に

消防費 9億5,210万円
 市民一人当たり 3万1,675円
 消防・防災対策に

商工費 9億1,906万円
 市民一人当たり 3万576円
 商工業・観光振興に

議会費 1億7,684万円
 市民一人当たり 5,883円
 議員報酬・議会運営に

労働費 1,014万円
 市民一人当たり 338円
 雇用・勤労者支援に

総務費 53億2,247万円
 市民一人当たり 17万7,073円



定住促進や職員人件費等に

民生費 44億616万円
 市民一人当たり 14万6,589円



子どもや障がい者、高齢者福祉に

教育費 29億249万円
 市民一人当たり 9万6,563円



学校教育や教育施設整備に

令和2年度
決算

一般会計 238億2

市民一人当たり
約79万円!

安全・安心な暮らしのために使われたのか!



▲昨年度実施されたしらすわ秋祭り

一般会計歳入内訳

| | |
|-----------|-------------|
| 国庫支出金 | 70億1,100万円 |
| 市税 | 44億8,858万円 |
| 市債 | 32億7,880万円 |
| 地方交付税 | 31億1,464万円 |
| 繰入金 | 27億3,238万円 |
| 繰越金 | 16億8,144万円 |
| 県支出金 | 14億2,419万円 |
| 地方消費税交付金 | 7億2,528万円 |
| 地方譲与税 | 1億8,256万円 |
| 使用料及び手数料 | 1億3,927万円 |
| その他(分担金等) | 4億9,534万円 |
| 総額 | 252億7,348万円 |

各会計決算額

| 会計名 | | 歳入 | 歳出 |
|----------------|------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | | 252億7,348万円 | 238億2,325万円 |
| 国民健康保険 特別会計 | (事業勘定) | 26億8,567万円 | 25億5,711万円 |
| | (直営診療施設勘定) | 1億545万円 | 9,850万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | 3億1,792万円 | 3億1,600万円 |
| 介護保険特別会計 | | 29億449万円 | 26億6,708万円 |
| 工業用地造成事業特別会計 | | 5億9,423万円 | 5億9,401万円 |
| 工業用地資産運用事業特別会計 | | 1億1,462万円 | 1億1,462万円 |
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 9億5,734万円 | 9億7,378万円 |
| | 資本的収支 | 3億2,310万円 | 5億4,388万円 |
| 公共下水道事業会計 | 収益的収支 | 8億6,227万円 | 7億5,738万円 |
| | 資本的収支 | 11億4,117万円 | 14億2,603万円 |

決算審査質疑 ピックアップ

総務費

電気自動車急速充電設備の 市民の利用状況は

問 庁舎前に作られた電気自動車急速充電設備の稼働開始時期と市民の利用状況は把握しているのか。

答 昨年の8月から利用を開始した。利用者は延べ件数ではあるが月平均189件の利用があった。令和2年度としては1,512件の利用状況であった。

民生費

待機児童発生理由は

問 毎年春は待機児童がいないが、10月頃になるとなぜ待機児童が出てくるのか。

答 4月時点では毎年待機児童がいないということですがスタートするが、保育所については6ヶ月にならないと入所できないと言っている。4月に入所するには前年の10月前に生まれていないといけないがその後生まれ方については随時申し込みが増えていくと言っていること保育所の先生の確保が難しい状況もあり待機児童が発生してしまっている。



▲庁舎前に作られた電気自動車急速充電設備

決算審査意見

監査委員より次のとおり意見がありました

「住み続けたいまちへみんなで育てる 新たなまちもとみや」のスローガンのもと、第2次総合計画に掲げる5分野の重点事業を、横断的に取り組む事業の構築をしてきた。令和元年東日本台風や福島県沖地震の被害による災害復旧及び新型コロナウイルス感染症対策により繰越明許費等に係る経費の繰越しが多く発生したが、各種事業に尽力される全職員に謝意を表するとした。

一方、効率性や透明性をさらに高めるうえで、次の事項について改善、検討を求めた。

- ① 経常収支比率が前年度より0.8ポイント減少し、改善が見られるが、引き続き硬直化に留意し努力すること。
- ② 市税等の収納事務について、徴収率が前年度より0.3ポイント上回り、市営住宅退去の強制執行や県知事より徴収率向上による表彰を受ける等、努力の成果が見られる。なお、不納欠損処分は「市民の公平性と財源の確保」を意識した慎重かつ厳正な取り扱いをすること。
- ③ 予算の執行にあたっては、事業執行計画を策定する等、効率的な執行を図るとともに、適切な執行管理に留意されたい。
- ④ 多くの繰越事業を執行するにあたり、職員の健康管理に留意すること。
- ⑤ 事業の執行にあたっては常に経費節減を念頭に、厳正で的確かつ効率的に努めること。

認定農業者育成支援事業補助金の内容は

問 農業経営改善支援費の中の認定農業者育成支援事業補助金367万円あるが、申請件数は何件あつて内容はどのようなものに使われたのか。

答 令和2年度については3件の申請があつた。内容は米の大型乾燥機、コンバイン、田植え機で総事業費が1千483万9,000円、補助金で367万円となつたところである。



▲徐々に居住制限の緩和を検討していく

土木費

復興公営住宅の今後の対応は

問 復興公営住宅は将来、市営住宅としても利用できるように建築されたと聞いているがその対応は。

答 現在浪江町、及び大熊町から避難されている方が対象となつているが、今後は県や浪江町と協議をして理解を得ながら段階的に入居者の居住制限を徐々に通常募集へと拡大することを検討していきたい。



▲認定農業者育成支援を行っている

市長への総括質疑

米価下落に対して農家への支援は

問 今年の県内の米の概算金が掲載され、中通りの米は全ての銘柄で1万円を大きく下回ると発表されていた。背景には人口減少に伴う全国的な需要減少に加え新型コロナウイルス感染症拡大による消費低迷があると言われている。このような米価では離農者に拍車がかかるのではと危惧している。平成26年の米価下落時には本市では一反あたり2,000円の補助を全稲作農家に対して実施していただいた。9月補正予算の中で新型コロナウイルスによる業者への補助が打ち出されているが、それと同時になんらかの形で農家の支援を考えるべきでは。

答 福島県産米については東日本大震災、原発のねじれた風評被害という形の中で売り上げが伸びず、どうしても業務米となつてしまつた。その業務米の売れ行きは非常に良い。しかし、その中で価格の伸びがうまくいかないという状況である。今後は国や県やJAがどう言う形の中で判断をして支援をしていくか、そこに間違いなく市が公平な形で上積みをしていくという方向で考えている。

コロナ禍で市民のモチベーション維持への取り組みは

問 市民の集う行事は感染防止ということで、ことごとく中止をせざるを得なくなつた。このことは、行政と市民が一体となつて取り組んできた協働のまちづくり、市民が主役のまちづくり推進事業に大きな影を及ぼすことと思われる。また、一番危惧されるのは、市民の方々がこのような状況に慣れてしまい、なにも行事がないことが楽だと感じてしまつ事である。アフターコロナに向け今後、市民の方々のモチベーションの維持にどのように取り組む考えか。

答 早くワクチンの接種を済ませ感染予防の徹底をしていく、これは感染を抑えていく中で一番大きなツールであるということには間違いのないと思つている。やめるのはいつでもやめられる。やるということを前提に進め、たとえそれが中止になつたとしても今ままでやろうと進めてきたことについては決して無駄にならないし、次につながっていくと思つている。コロナに対応した中でどういふイベントができるのか考えていかななくてはならない。感染予防をしっかりととしてワクチンの接種を速めていくこのことがウイズコロナの活動を速めていくことであり、アフターコロナにむけて筋道を立てていけることではないかと思つている。

各会計決算認定など 25議案を可決

定 9 月 例 会

9月定例会（第4回本宮市議会定例会）は、諮問4件、条例の制定や各会計補正予算など24議案と報告3件、議員から発議が1件提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情1件が提出され、審議の結果、採択と決定しました。

今議会には、令和2年度の各会計の決算認定が上程され、決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたって集中審査を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

表彰



市の振興発展に貢献し、その顕著な功績が認められた方を功労者として表彰することに同意しました。

特別功労表彰

野口 邦和氏（東京都新宿区）

本宮市放射線健康リスク管理アドバイザー（9年9か月）

三瓶 宏夫氏（長屋字稲多利）

本宮市白沢ふれあい文化ホール運営協議会委員（25年）

渡邊 傳氏（和田字作田）

交通教育専門員（20年）

遠藤 義夫氏（青田字花掛）

納税貯蓄組合連合会長（17年）

長谷川 建一氏（本宮字坊屋敷）

都市計画審議会委員（14年1か月）
令和元年度一般功労表彰

人事



今定例会では、市長から人権擁護委員の推薦について諮問があり、人権擁護委員法に基づき、次の方々を法務大臣に推薦することに同意しました。

人権擁護委員（再任）

橋本 広栄氏（岩根字前田）

遠藤 美恵子氏（本宮字花町）

人権擁護委員（新任）

遠藤 剛氏（仁井田字下ノ原）

市川 裕子氏（和田字刑部内）



令和3年度

一般会計補正予算(第5号)

14億5,325万円を増額

▲災害復旧工事が行われる白岩小学校体育館

《一般会計補正予算(第5号)の主な内訳》

歳出

- 災害復旧工事 … 3億5,200万円
- パークゴルフ場整備工事
- 英国庭園イベント広場等整備工事 … 1億7,572万円
- 災害廃棄物処理業務委託料 … 8,388万円

歳入

- 建物損害共済金 … 3億1,879万円
- 小学校災害復旧費負担金 … 1億8,260万円
- 前年度繰越金 … 1億5,849万円

今議会に提出された令和3年度一般会計補正予算(第5号)の主なものは、2月13日に発生した福島県沖地震で被害を受けた白岩小学校体育館の災害復旧費、同地震により被災された家屋の応急修理及び被災家屋等自費解体撤去並びに災害廃棄物処理業務に要する経費、新型コロナウイルススワクチン集団接種委託料などが計上されました。

また、歳入では小学校災害復旧費負担金や普通交付税、パークゴルフ場整備事業債などが計上されました。

一般会計補正予算(第5号)

白岩小学校体育館災害復旧費等を計上

一般会計補正予算(追加議案)

新型コロナウイルス感染症対策市独自支援等を計上

令和3年度一般会計補正予算(第6号)の主なものは、新型コロナウイルス感染症対策の市独自支援事業としての経費やしらすわグリーンパーク野球場の改修に要する経費などが計上されました。

議案質疑

土地開発基金繰出金は何か目的があるのか

問 土地開発基金は将来にわたって必要だという形の中で繰出しすると説明があったが、今回また3,000万円計上されているが、今後の目的が何かあるのか。

答 今後の事業は未確定であるが、基金を増やすことによって将来の土地関係の事業を円滑に進めるために今回計上した。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、令和3年度本宮市一般会計補正予算(第5号)のほか、議案2件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。



▲ランニングコース整備工事現場

一般会計補正予算
(第5号)

説明 ふるさと納税寄付金について、5・6月の寄付分をふるさとともみや応援基金積立金へ充当する。

問 ふるさと納税寄付者の意向の把握方法および「さとふる」の運用状況は。

答 寄付者の意向は、申込時に市であらかじめ示している6つの目的からひとつを選択していたら、意向を確認している。「さとふる」の運用状況について、令和2年11月から運用を開始し、令和2年度の全寄付件数175件のうち95件が「さとふる」によるものであった。

説明 令和元年東日本台風における、被害のあった公共施設についての建物損害共済金の額が確定したため、歳入の補正を行う。

問 市の公共施設は全て建物損害共済に加入しているのか。

答 全て加入している。また、一般会計においては、建物損害共済金を受けることにより、国庫補助金や市債の発行額が減額されることはない。

現地調査
白岩小学校体育館災害復旧現場、ランニングコース(本宮運動公園内)整備工事現場および新本宮第1保育所災害復旧工事現場(本宮字下台地内)の現地調査を実施した。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市手数料条例の一部を改正する条例制定のほか議案4件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。



▲委員会での審査の様子

本宮市手数料徴収
条例の一部改正

説明 マイナンバーカードの再発行及び交付に係る手数料を撤廃する。

問 マイナンバーカードの本市での交付率は。

答 現在の本市の交付率は36・0%であり、全国平均と同じ交付率である。福島県内の交付率の平均は31・9%であるため県平均を上回る数値であり、県内13市の中では5番目の交付率である。

説明 新型コロナウイルス感染症対策事業における人件費や消耗品費、委託料の補正を行う。

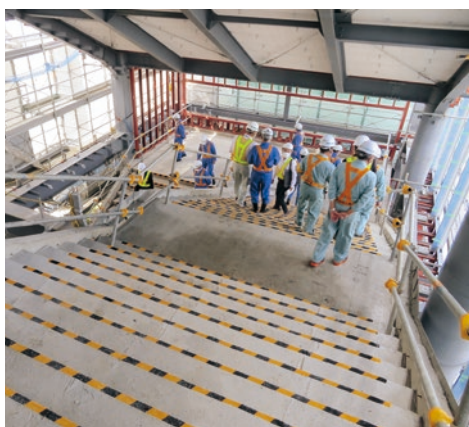
問 新型コロナウイルスワクチンの接種進捗状況はどの程度か。

答 9月6日時点で12歳以上の対象者27,109人のうち、1回目の接種が56・14%、2回目の接種率が46・34%である。

一般会計補正予算
(第5号)



産業建設常任委員会



▲本宮駅東西自由通路等新設工事箇所

産業建設常任委員会には、令和3年度本宮市一般会計補正予算（第5号）のほか、議案4件、陳情1件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

一般会計補正予算 (第5号)

説明 英国庭園来園者の利便性向上と更なる魅力発信のため、庭園前駐車場にイベント広場や大型バス駐車場等を整備する工事にかかる経費を補正する。

問 大型バス駐車場位置の検討は。

答 屋外あそび場は市内外の小学校や幼稚園・保育所の遠足等で利用されており、その際に使用するバスの駐車場を確保することに加え、隣接する野球場利用の際、選手を乗せるマイクロバス等の駐車を考慮したうえで検討を行っている。

陳情審査

陳情第4号「新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情書」について、採択のうえ、意見書を提出すべきとの意見で、全委員が一致し決定した。

現地調査

本宮駅東西自由通路等新設工事箇所の現地調査及び、パークゴルフ場並びに、市道大山・松沢線工事の現地調査を実施した。



意見書提出

9月定例会において、発議第6号が可決されたことを受け、国に対して意見書を提出しました。意見書の内容については以下のとおりです。

新型コロナウイルスによる米危機の改善を求める意見書

「コロナ禍における米の需要」「消失」は2019年産米の過大な在庫を生み、2020年産米の市場価格は大暴落し、年末年始における感染者拡大と自粛要請、さらに緊急事態宣言の再発令により、需要減少に歯止めがかからず、2020年産米の販売不振と米価下落は底なしの状態になっていきます。

このままでは2021年産米の大暴落はもとより、来年6月末在庫が250万トン規模となることが予想され、2年連続の米価下落にとどまらず2022年産米価格も上昇することはかなわず、3年連続の米価暴落となれば、大規模経営でも米づくりから撤退することにつながりかねません。

コロナ禍の中、各地で取り組まれているフードバンクには食料などを求めて多くの方が参加されており、富山県砺波市では昨年、ひとり親家庭等を支援するため児童手当受給世帯に「お米券」を支給し対応をしています。かつてない危機的事態の中で、苦しむ国民と農家への支援のために、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が緊急に求められます。

よって、国においては、下記事項について実現されるよう強く要望します。

記

1. コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買い取るなどして市場から隔離し、需給環境を改善すると共に米価暴落に歯止めをかけること。
2. コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食糧支援制度を欧米並みに創設し、政府が支援すること。お米券の支給など支援を行うこと。
3. 国内消費に必要な外国産米（ミニマムアクセス米）について、国産米の需給に応じて輸入数量抑制を直ちに実行すること。

本会議での討論

9月16日の本会議で、議案第81号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第81号 令和3年度本宮市一般会計補正 予算（第5号）

反対討論 渡辺忠夫 議員

予算ではワクチン接種推進はあるがワクチンだけで感染防止にはならないと考える。感染対策の基本は検査を広く行い、いち早く見つけ隔離して医療行為を行うこと。この体制をとる予算になっておらず感染対策検査の予算を取って対応するべきである。

英国庭園イベント広場の整備事業では、このことよってこれまでと違った地域になってしまわないか。スポーツ振興の村宣言をして、そのために奮闘してきた先輩方の努力を思う時そのことが心配である。パークゴルフ場の整備については、河川敷の場所は適切とは思えない。

賛成討論 石橋今朝夫 議員

本議案は、本年2月発生の福島県沖地震で被害を受けた建物の災害復旧工事、新型コロナウイルス感染症対策事業、英国庭園イベント広場等整備工事など安全・安心・快適な生活環境の維持と向上に資する経費を中心とした歳出予算の補正である。市民のためのランニングコース整備工事についても、総務文教常任委員会の審査において説明があったとおり、市民の体力向上、多世代交流及び、スポーツ振興を図るための工事である。これらのことから、各事業は速やかに進めるべきであると考えます。

反対討論 国分勝広 議員

補正予算は一般的に当初予算の編成時に予測できなかった制度の改正や、国県の補助金の確定によるものや、災害の発生により必要となった予算措置をするためのものである。思いつきで安易に借金をして追加補正をするのは財政運営の一貫性や、財政規律が杜撰となる恐れがあり、当初予算の意義がなくなる。今回の補正である土木債のパークゴルフ場整備事業や英国庭園イベント広場整備事業は多くの一般市民が以前から待望している事業ではなく、新型コロナウイルスの蔓延による影響で市民経済が落ち込んで先行きが見通せない時期に行う事業ではない。次年度の当初予算で行っても市民の納得は十分得られると考える。

賛成討論 三瓶幹夫 議員

本議案は、令和2年度決算による繰越金、普通交付税などの補正、また、災害復旧工事、新型コロナウイルス感染症対策事業など、生活環境の維持と向上に資する経費を中心とした歳出予算の補正である。さらに、英国庭園イベント広場等整備事業、及びパークゴルフ場整備事業に伴う市債、土木債の発行については、他の公共施設同様、今後長期にわたり多くの方々が利用する施設であり、従来より計画してきたものである。今回、具体的計画がまとまり、事業に着手する時期を考慮するとともに、市の新しい財政運営計画の中で、積極的な事業の推進と長期に財政運営計画を念頭に市債の発行が行われるものであるため、本議案に賛成する。

9月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は12ページのとおり全会一致で可決されています。

| 会派名 | みらい創和会 | | | 新風会 | | | 志誠会 | | | 共 | 無所属 | | | | | | | | | |
|--------|--------|-----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 議員名 | 円谷 | 石橋 | 磯松 | 渡辺 | 斎藤 | 川名 | 根本 | 三瓶 | 橋本 | 菊田 | 遠藤 | 渡辺 | 馬場 | 三瓶 | 菅野 | 渡辺 | 渡辺 | 伊藤 | 作田 | 国分 |
| 議案番号 | 長作 | 今朝夫 | 俊彦 | 由紀雄 | 雅彦 | 順子 | 利信 | 裕司 | 善壽 | 広嗣 | 初美 | 忠夫 | 亨守 | 幹夫 | 健治 | 秀雄 | 善元 | 隆一 | 博 | 勝広 |
| 議案第81号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない
※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

| 議案番号 | 議案名 | 議決結果 |
|----------|--|--------|
| 諮問第 2 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 同意 |
| 諮問第 3 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 同意 |
| 諮問第 4 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 同意 |
| 諮問第 5 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 同意 |
| 議案第 66 号 | 特別功労表彰について | 同意 |
| 議案第 67 号 | 特別功労表彰について | 同意 |
| 議案第 68 号 | 特別功労表彰について | 同意 |
| 議案第 69 号 | 特別功労表彰について | 同意 |
| 議案第 70 号 | 本宮市個人情報保護条例及び本宮市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決確定 |
| 議案第 71 号 | 本宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決確定 |
| 議案第 72 号 | 本宮市都市計画下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決確定 |
| 議案第 73 号 | 令和 2 年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 74 号 | 令和 2 年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 75 号 | 令和 2 年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 76 号 | 令和 2 年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 77 号 | 令和 2 年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 78 号 | 令和 2 年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認定 |
| 議案第 79 号 | 令和 2 年度本宮市水道事業会計決算認定について | 認定 |
| 議案第 80 号 | 令和 2 年度本宮市公共下水道事業会計決算認定について | 認定 |
| 議案第 81 号 | 令和 3 年度本宮市一般会計補正予算（第 5 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 82 号 | 令和 3 年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 83 号 | 令和 3 年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 84 号 | 令和 3 年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第 2 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 85 号 | 令和 3 年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 1 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 86 号 | 令和 3 年度本宮市水道事業会計補正予算（第 3 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 87 号 | 令和 3 年度本宮市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号） | 原案可決確定 |
| 議案第 88 号 | 特別功労表彰について | 同意 |
| 議案第 89 号 | 令和 3 年度一般会計補正予算（第 6 号） | 原案可決確定 |
| 報告第 11 号 | 令和 2 年度本宮市継続費精算報告書について | |
| 報告第 12 号 | 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和 2 年度健全化判断比率及び資金不足比率について | |
| 報告第 13 号 | 専決処分の報告について （専決第 11 号 和解及び損害賠償額の決定について） | |
| 発議第 6 号 | 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める意見書 | 原案可決確定 |
| | 閉会中継続調査申出書（各常任委員会） | 決定 |

陳情一覧表

| 受理番号 | 受理年月日 | 付託委員会 | 件名 | 提出者の氏名 | 審議結果 |
|---------|-----------------|-------|----------------------------|-----------------|------|
| 陳情第 4 号 | 令和 3 年 8 月 20 日 | 産業建設 | 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める陳情書 | 安達地方農民連 会長 佐藤佐市 | 採択 |

市長へ意見・要望を提出

本年4月28日から5月31日までの期間で実施いたしました「市議会アンケート」の結果で「市長に伝えるもの」として意見を7月21日に市長へ提出しました。内容の一部をご紹介します。

本宮市内には、良いお店がたくさんありますが、駐車場がありません。あったとしても狭かったり、入ったら、今度は往来する車で、なかなか出られなかったりします。なので、大型店へ行ってしまう。そこで、災害に遭われた方々には申し訳ないのですが、家を取り壊された跡地を利用してはいかがでしょうか。できれば無料駐車場を。

市営墓地を作してほしい。以前の居住地には近くに公園墓地という公共で宗派を問わない墓地があり、墓参りだけでなく、散策や公園もあり、家族で気軽に訪れることができ、季節を問わず美しい場所だった。

新本宮駅建設費を圧縮し、五百川駅を整備改修工事費用へ向けてほしい。待合室が狭い、駐輪場が狭い、駅の入口道路が狭い、至急改善願います。



私は、現在、本宮市内で1番内水被害のおそれが高い万世地区に住んでいるが、3年前に市長に諮問委員会の提言が出て以降、行政が進んでいるように思えません。

税金や公共料金をキャッシュレス決済で支払えるようにしてもらいたい。県内でも多くの市町村でキャッシュレス決済での支払いが可能である。固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、保育料・公立保育所食材料費実費徴収金、住宅使用料・駐車料、介護保険料、後期高齢者医療保険料、市県民税、水道料金・下水道使用料・農業集落排水施設使用料、下水道受益者負担金・分担金などをキャッシュレス決済のpaypayで支払える。コロナ禍で現金決済を減らす事も出来るので良いのではないかとと思う。

防犯カメラを、駅前通り、町中通り、高木方面、各小中高校の前、下ノ橋、中の橋、みずいろ公園などに設置して、みんなが安心して買物、外出できる本宮市にしてほしい。

様々なご意見ありがとうございました。

頂いたご意見は議員一同、今後の政策提言に活かしていきたいと思っております。

一般質問

市政を問う

今定例会も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、一般質問において質問者は自席で質問を行いました。

9月定例会の一般質問は、7名の議員が登壇し、2日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

14ページ:

- 橋本善壽 議員（志誠会）
- 五百川駅前県道の拡幅工事は
- 近隣県より米価が安い対策は
- 磯松俊彦 議員（みらい創和会）
- 大玉村スマートインター推進は
- 農業および商工業の振興について

15ページ:

- 馬場亨守 議員（無所属）
- 市所有施設の利用状況について
- 市道及び県道の整備について
- 斎藤雅彦 議員（新風会）
- 本宮市地域公共交通の見直しは
- マイ・タイムラインの作成支援は

16ページ:

- 遠藤初実 議員（志誠会）
- 富士内・上沢線の災害復旧は
- 安達第2荒井村道踏切について
- 国分勝広 議員（無所属）
- 住民が納得する計画にすべき
- 人口減少社会のありかた

17ページ:

- 渡辺忠夫 議員（日本共産党）
- コロナ感染症防止対策の強化を
- 学校給食費に補助の増額を



▲農業の振興を

問 市道大山・松沢線に沿線開発進まない原因について市当局分析は。

答 大玉村でスマートインター建設推進の動きがあると聞いている。市道大山・松沢線の延長線と東北自動車道の交差する地点に建設した場合、本市への好影響は。

問 交通の利便性が良いことから本宮インター周辺の土地を求めめる声が多い。大玉村のスマートインター誘致ということ、今後の検討のため調査を委託したと聞いている。交流人口拡大、地域の活性化が期待され、本市にもメリットがある。

問 遊休農地や荒廃農地の可視化についての認識、取り組みの方向性は。5月末の食後得得キャンペーン終了後も夏にかけて感染者は増加している。新型コロナ流行から来る商業への悪影響への対策へ、市独自の対策は。

答 遊休農地や荒廃農地の場所を可視化することは、農地の最適化を推進するうえで重要なため、農地台帳システムで実施したい。コロナ対策の支援策として国からの交付金に一般財源を加え、事業者に対する直接的な支援策として検討していきたい。



問 大玉村のスマートインター推進は本市にもメリットがある

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 農業および商業の振興について

答 コロナ対策で事業者支援を検討

問 五百川駅前、朝夕の利用者の多い時間帯は非常に混んでいて大変危険な状態である。県に要望はしているが、駅前整備事業時は安全確保のため県道大橋・五百川停車場の、道路拡幅や歩道の確保は絶対に並行して実施するべきでは。

答 五百川駅周辺の大橋・五百川線は歩行者、自転車での利用が多いうえ、歩道が無く危険な状況となっている。五百川駅周辺の整備と併せて拡幅改良、歩道設置は県に対して強く要望しているところであるが、今後もしっかり要望する。

問 食味ランキングで本県中通りのコシヒカリは「特A」である。おいしい米が原産事故以来10年経った今でも風評被害で近隣県と比べて1,000円は安くなっている。JAと市町村が一体となり、国や東電に強く訴えていくべきでは。

答 もう風評ではなく、その風評を悪い形に仕入れるの方々に利用されている。JAと一緒にトップセールスの中で仲買の方々にも強い要望をしているが成果が見られない。問題がどこにあるのかしっかりと研究しながら力強い交渉が必要だ。

その他の質問

- ・盛り土や残土処理された造成地等の安全対策は
- ・飼料米生産者に対しての堆肥助成の考えは



▲五百川駅前の道路拡幅を



問 五百川駅前県道の拡幅工事は

答 県道拡幅は県に強く要望していく

橋本 善壽
議員
(志誠会)

問 近隣県より米価が安い対策は

答 力強い交渉が必要だ



▲市道の改良を



問 市所有施設の利用状況について

答 利用状況は昨年よりも増

問 市道及び県道の整備について

答 緊急性を考慮しながら進めたい

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 ①地域交流センターの上期実績によるコロナ禍の中における費用削減の対策は。
一年間に2,300万円の予算が計上されている。上半期の利用者は。建物について夜間、ライトアップして地域の活性化につなげては。
②総合体育館についてはどうか。

答 ①利用者は、4万8,955名で、昨年より7,300名の増。
ライトアップについての提案は、参考の一つとさせていただく。
②利用者は四月から八月までの五か月間で1万7,000人で昨年より二倍の利用者となっている。

問 市道について60kmで整備補修が20億円程度見込まれているとの試算がある。
①市道孫市・太子堂線改良計画は。
②県道二本松・金屋線の高木地区における朝の渋滞解消策は。
③県道本宮・三春線のJRガード下の歩道設置は。

答 ①延長約190mの市道で側溝に蓋がなく未改良の区間で、今後地形測量等の実施を予定している。
②北警察署本宮分庁舎と協議を進めたい。上ノ橋先線を二年前倒して令和六年度に供用したい。
③県に対して、今後の整備を要望したい。



問 本宮市地域公共交通の見直しは

答 公共交通活性化協議会で検討中

齋藤 雅彦
議員
(新風会)

問 毎日誰かが必ず利用しているバス停は少なく、利用が全くないバス停が多い便も存在する。今後、利用者の移動場所・時間に合わせた運行や、バスを待てるような椅子や待合室の設置等、市民の要望にどう応えていくか重要と考えるが。

答 各団体の代表、公募委員、運輸局、JR、福島交通や福島大学の吉田准教授により、何よりも利便性の向上と市民目線、継続性も含め検討している。再編に当たり市民に分かりやすい利用方法の構築や容易に理解できる情報発信に努める。

問 マイ・タイムラインの作成支援は

答 市内在宅介護支援事業所の協力で

問 マイタイムラインは自分自身の行動計画表で、家族が避難に掛かる時間や誰が、いつ、何をするか考える取組みになり、高齢者や障がいを持つなどの避難弱者には作成支援が必要と思うが、個人の防災行動計画作成の市の取組みは。

答 市内にはマイタイムラインを必要とする高齢の要支援者が多い状況で、要支援者の置かれた状況や緊急性に応じて、段階的に作成支援を進める。浸水想定エリアの在宅要介護3以上50名を対象に個別避難計画の作成をスタートさせた。



▲公共交通の見直しは



▲五百川駅前広場改良に予算を

問 五百川駅前広場整備
 予算額は1億1千万円
 で、本宮駅周辺整備総額
 33億5千万円と比較する
 と、住民の数からして本
 宮駅の10%ぐらいの予算
 を投入しても良いのでは
 ないか。同じ本宮市民で
 はないのか。

答 工事費、用地費で
 1億1千万円を見込んで
 いる。今回の短期的な混
 雑緩和ということを進め
 ているが、今後長期的な
 事業なので、あくまでも
 今回の部分ということ
 でこの金額を示したところ
 である。

問 本宮市の将来人口
 推計では2040年に
 26,480人と推測さ
 れる。であるなら人口が
 減少しても市の行財政や
 地域社会の持続運営を可
 能にするため予見可能性
 の高い課題から目標を定
 めて対応する、バック
 キャスト思考が必要で
 は。

答 今後人口が急激に
 進む中で、市の施設とし
 てはインフラの老朽化に
 より修繕費がかさんでく
 る。将来の形を見ながら
 逆算してその実現のため
 にそういった考えを取り
 入れながら施策を進めて
 いくことが効果的だと考
 えている。

その他の質問

・婚活支援組織の整備をすべきでは



問 住民が納得する計画にすべき

答 あくまで今回の部分の事業費

国分 勝広
 議員
 (無所属)

問 人口減少社会のありかたは
答 非常に効果的だと考えている

問 東日本大震災時と令
 和3年2月の福島県沖地
 震の通行止め期間と工事
 費用はいくらか。
答 次の三度目を想定する
 と同じ期間と予算と予想
 できる。地震対策の新しい
 工法でひび割れによる
 通行止にならない設計は
 可能なのか。

答 今回、再度被災し
 たことになる。前回の復
 旧の際は原形復旧という
 ことで完了した。今回は、
 その教訓として、補強の
 土壁や、改定された施行
 マニュアルに基づいて進
 めていく。

問 ポストコーンで子供
 の通行は便利になった
 が、自転車通行には不便
 さがある。
答 一年がかりでもないの
 で、北側に歩道の橋を追
 加工事できないのか。軽
 い重量で負担がかからな
 いと思う。

答 平成29年に安全確保
 できる方法でJRと相談
 した。上り線の橋まで高
 さが5・3mだが、現在
 は高さが6・9m以上な
 いと橋が架けられない。
 JRから現在の基準では
 不可能という回答を頂い
 た。

問 安達第2荒井村道踏切について
答 現在の基準では不可能

問 富士内・上沢線の災害復旧は

答 最新の基準で復旧を進める

遠藤 初実
 議員
 (志誠会)

その他の質問

・子宮頸がんワクチンについて国が積極的勧奨を
 していない接種に対する市の考えは



▲富士内・上沢線の復旧を

議会を インターネットで ご覧いただけます！

本年6月定例会より、議会がインターネット中継でご覧になれるようになりましたので、ぜひご視聴ください。

ご視聴の方法は下記のとおりです。

本宮市議会ホームページへアクセスする。
<https://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>



↓
 サイト(MENW)内「市議会の紹介」の中にある「議会中継」をクリック

↓
 本宮市議会 議会中継サイトへアクセスされるので現在中継中の議会もしくは過去の議会(令和3年6月議会以降)の録画の中で観たいものを選ぶ

↓
 議会の中継、録画をご視聴いただけます！

※議会の録画は公開まで2週間程度時間がかかります。

| 2021年7月現在 福島県知事室より日本共産党福島県議員団作成 | |
|------------------------------------|--------|
| 1 福島市 | 2 桑折町 |
| 2 会山町 | 3 石川町 |
| 3 下郷町 | 4 浜川町 |
| 4 古殿町 | 5 喜多方市 |
| 5 原町町 | 6 平田町 |
| 6 堤町 | 7 飯川町 |
| 7 柳津町 | 8 磐山町※ |
| 8 三島町 | 9 大玉村 |
| 9 亘野町 | 10 安達町 |
| 10 只見町 | |
| 11 北郷原町 | |
| 12 国見町 | |
| 13 川内町 | |
| 14 大熊町 | |
| 15 双葉町 | |
| 16 浪江町 | |
| 17 富岡町 | |
| 18 喜望峯町 | |
| 19 地保町 | |
| 20 飯舘村 | |

| 半額補助 | 一部補助 |
|-------|--------|
| 1 楢原町 | 2 郡山 |
| 2 湯川町 | 3 西郷町 |
| 3 本宮市 | 4 本宮市 |
| 5 福島市 | 6 田村市 |
| 7 白河市 | 8 新地町 |
| 9 雫石町 | 10 天栄町 |

▲給食費の補助増額をするべき

問 新型コロナウイルス感染症防止対策について伺う。感染爆発と医療崩壊が極めて深刻になっていく。本市のコロナ感染の最近の状況と国に対しての検査体制の強化の要請の考えや独自の防止対策について伺う。



問 コロナ感染防止対策の強化を

答 基本的な感染対策をお願いする

答 新型コロナウイルス感染者の発生状況は9月6日現在143名の感染者が出て、7月下旬から急増した。対策としては不要不急の外出の自粛、混雑場所を避けるなど基本的な感染対策の一層の徹底をお願いしていく。今のところ国に要請の考えはない。

問 学校給食費に補助の増額を願う

答 義務教育として国が持つべき

問 学校給食費に対する補助があるが無償化について何回か質問をした。補助、助成をする自治体が増えている。1回目の大玉村では42%、自治体と31%、現在30%、令和3年は50%である。検討すべきと思うが伺う。

答 市としては値上げ分を支援している形である。給食費が安いからどここの自治体に行くという人口の流れを見ていく。基本的には義務教育は全額国が見るべきである。今のところ給食費については個人、家庭が支払うべきとの考えである。

渡辺 忠夫
 議員
 (日本共産党)



おじゃましました！

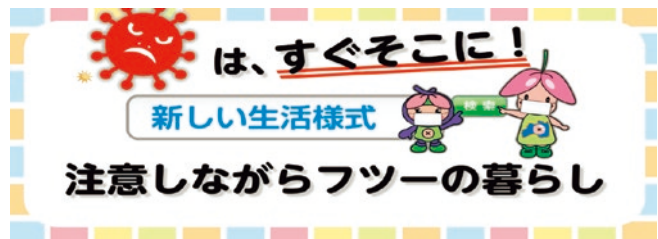


今号の表紙は、光明保育園で撮影しました。撮影した写真の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。

次回12月議会定例会は

12月1日に開会予定です。
 請願・陳情の締め切りは
 11月18日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
 問い合わせ TEL24-5435



あとかき

9月議会は「決算議会」とも呼ばれ、令和2年度の予算執行状況をチェックする重要な議会になります。

コロナ禍の中、諸事業が執行できなくなりましたが、翌年に繰り越すべき財源の約4億7千173万円を差引いた実質収支額は9億7千849万円になりました。自治体が財源に余裕がある年に積立てる財政調整基金(貯金)等の基金繰入額6億7千万円を差引くと、3億849万円が令和3年度への繰越金になり、財政調整基金の決算年度末残高は14億円になりました。また、工業団地の県土地開発公社に対しての償還金120億円は、令和2年度で計画通り返済が完了しました。

広報広聴委員会のメンバー構成も変わり、市民の皆様にわかりやすく読んでいただける議会広報誌を目指し活動してまいります。(斎藤)

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 発行責任者 | 議長 | 三瓶 裕司 |
| 広報広聴委員会 | 委員長 | 斎藤 雅彦 |
| 副委員長 | 石橋今朝夫 | |
| 委員 | 磯松 俊彦 | |
| 委員 | 根本 利信 | |
| 委員 | 菊田 広嗣 | |
| 委員 | 三瓶 幹夫 | |
| 委員 | 国分 勝広 | |
| 委員 | 渡辺 善元 | |